広陵民報

2014（平成26）年12月議会報告

発行
町会議員：八尾（やつお）　春雄 TEL0745-60-0972
メールアドレス：snkb30217@hera.eonet.ne.jp
町会議員：山田みつよ TEL0745-55-7003
メールアドレス：my22@kcn.jp

中学校給食平成２８年4月実現！

保護者の願いやっと実る

3年前の３３６７筆の請願署名の力！

共産党議員団は繰り返し議会で質問し、保護者のみなさんの願い実現のため一日も早い実施を求めてきました。この願いが実現することは大きな喜びです。

ところが今、どんな内容の給食にするかが大きな問題になっています。
山村町長は公約で中学校給食は自校方式で実施したいと言われてました。
ところが町は、突然香芝市と共同でセンター方式で実施すると以下のプランを提案してきました。（中学校給食運営委員会ではこんな議論は全くされていません）

〈町が提案したプランの内容〉
1　香芝市と共同でセンター方式で実施。
　・協議会方式で総事業費　14億2，500万円
2　広陵町は２校で1，200人分、香芝市は４校で2，800人分、合わせて4，000人分の調理工場を作る計画。土地は図書館南側の駐車場として使用している土地。
3　出資割合は広陵町が３０％、香芝市が７０％。
4　広陵町が主体なので起債（借金）は広陵町が行う。
5　調理、配送、など民間委託にする。（小学校給食も民間委託を検討中）

給食内容は子ども達が楽しみにできるもの、給食の方式は食育に最も適したものにすることが重要

自校方式が優れる訳は、栄養士さんや調理員さんと食べる子ども達の間のコミュニケーションが密接になることで教育の一環として体と心を育てます。
いい匂いで五感も刺激され、温かい物は温かく、冷たいものは冷たく食べられます。
アレルギーなどへの対応もやりやすくきめ細かな対応ができます。
また災害時の救援配食も出来、万が一事故がおきてもその影響は一校の範囲で最小限に抑えられます。
民間委託ではどうしても利益優先になり、子ども達に安心でおいしい給食の提供や食材の地産地消の推進が二の次になる恐れがあります。

香芝市との共同センター方式は、事業費で自校方式２校分の５億8，000万円より1，470万円安くできると言っていますが、図書館南側の土地の整備やかぐや姫祭りなどの催事用の駐車場を別に確保しなければならないためこのプランでの経費見積もりはもっとかかる。差はもっと減る（あるいは逆転する）と思われます。

少しの経費の差でこんな最悪のプランを進めるより、多くの保護者が願う２校の自校方式で実施すれば何の問題も起きません。実施期日も変更なくできますが香芝市との共同センター方式プランでは協議が難航して実施時期が遅れる可能性も生じます。

日本共産党議員団は最後まで多くの保護者の皆様と共に自校方式実施に向けて頑張ります！